



● 草の根パートナー型

平成17年度第1回 採択内定案件

I. 提案事業の概要	
1. 国名	ペルー
2. 事業名	障害者自立支援事業
3. 事業の背景と必要性	ペルー共和国には多数の障害者がいるが、その多くは外出の場がなく、家庭内での閉じこもりを余儀なくされている。障害者（児）は、一般の社会人同様、普通の社会生活を営む権利を有するが、そのための対策が行われておらず、彼らの自立が可能となるような支援策が必要とされている。
4. 事業の目的	障害者（児）の自立を促進し確立させるため、地域リハビリテーション活動をはじめ、各種支援活動を、過去に行なった草の根協力支援型「ワラル地域保健福祉プロジェクト」での経験を基に実施する。これにより、総合的な「障害者自立支援事業」の確立を図る。
5. 対象地域	ペルー国首都のリマ市ブエプロリブレ区を中心として行う。可能な限り、周辺地域も対象として実施する。
6. 受益者層	障害者（児）を対象とする。性別、民族、年齢、収入は関係ない。
7. 活動及び期待される成果	<ol style="list-style-type: none"> 1. 障害者の自立対応策として、地域リハビリテーション活動の実施と研修等による家族、住民等の障害者に対する認識の向上、更には閉じこもり障害者の外出場所の確保を図る。また、障害者への職業訓練を実施し、就職の可能性を高める。 2. 特に障害児を対象として、障害児に最も必要とされる「親離れ」を実現させるとともに、本人を自立させるため、「就職」の可能性を広げることを目的に、日本で行われている「授産所」的施設を設置し、身体機能、社会生活、職業訓練等を実施する。 3. これらにより、障害者（児）の自立が図られ、障害者の閉じこもりからの開放、障害児の親離れが可能となる。
8. 実施期間	2006年4月～2009年3月（3年間）
9. 事業費総額	50,000千円（予定）
10. 事業の実施体制	ペルー国リマ市ブエプロリブレ区にあるラウニオン協会をカウンターパート団体として実施する（なお、この活動にはペルー日系人協会の支援も得ている）。日本側実施団体は、障害者指導訓練関係の専門家を派遣し、障害者指導に係る技術移転や、「授産施設」運営のノウハウ等に係る指導を行なう。
II. 実施団体の概要	
1. 団体名	ひまわりの会
2. 活動内容	弱者救済を目的とした保健、福祉、教育、の分野を主体に、過去14年間、海外ボランティア活動を行っている。ペルー国についても直近10年間に以上の活動を行っている。